

科目ナンバリング		U-LAS04 10011 LJ45							
授業科目名 <英訳>	社会学II Sociology II			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 西川 純司				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	月5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
本講義では、社会学史を概観しながら、社会現象を理解し、解釈し、説明しようとして試みてきた理論や学説について講義する。また、それらがどのような社会的背景のもとで考え出され、社会をどのように捉えようとしてきたのかを解説する。誰が、いかなる同時代的背景のなかで、どのような理論や学説を導き出してきたのかを知ることは、現代に生きる私たちにとっても社会を見通す鍵となるだろう。「社会学II」では意味学派から最新の社会学理論までをみる。									
【到達目標】									
1) 社会学の理論や学説について把握し、それらが生み出された社会的背景と併せて、説明することができる。									
2) 社会学の理論や学説を用いて身近な社会現象について考えることができる。									
【授業計画と内容】									
第1回 オリエンテーション									
第2回 意味をめぐる相互作用としての社会(相互作用論2):シュッツ									
第3回 意味をめぐる相互作用としての社会(相互作用論2):意味学派									
第4回 「自由」と「社会」の変質(イデオロギー論2):カルチュラル・スタディーズ									
第5回 複合化する行為(行為論3):フランクフルト学派									
第6回 複合化する行為(行為論3):ハーバーマス									
第7回 私たちが生きる近代とは(構造論3):ギデンズ									
第8回 私たちが生きる近代とは(構造論3):ベック/バウマン									
第9回 プロセスを捉える様々な枠組み(相互作用論3):ゴフマン									
第10回 プロセスを捉える様々な枠組み(相互作用論3):ガーフィンケル									
第11回 複雑な社会をどう捉えるか(社会学理論の展開1):ブルデュー									
第12回 複雑な社会をどう捉えるか(社会学理論の展開1):ルーマン									
第13回 複雑な社会をどう生きるか(社会学理論の展開2):フォーコー									
第14回 複雑な社会をどう生きるか(社会学理論の展開2):ラトウール									
第15回 フィードバック									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
確認テスト(60点)と期末レポート(40点)により評価する。 詳細は初回の授業で説明する。									
----- 社会学II(2)へ続く -----									

社会学II(2)

**[教科書]**

使用しない

**[参考書等]**

(参考書)

木村至聖 『歴史と理論からの社会学入門』 (ナカニシヤ出版、2022年) ISBN:978-4-7795-1634-4 (社会学理論を世界史的背景とともに解説している)

**[授業外学修(予習・復習)等]**

授業前後に、参考書や授業中に紹介する文献を読んでおくとう理解が深まる。

**[その他(オフィスアワー等)]**